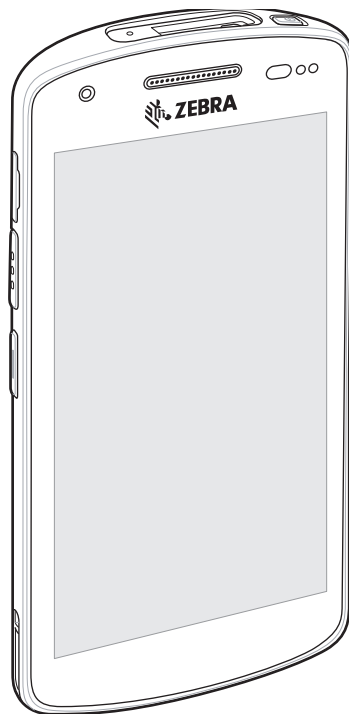


# EC50/EC55

エンタープライズ コンピュータ



クイック スタート ガイド



ZEBRA

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。© 2021 Zebra Technologies Corporation および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア : <http://www.zebra.com/linkoslegal>

著作権 : <http://www.zebra.com/copyright>

保証 : <http://www.zebra.com/warranty>

エンドユーザー使用許諾契約 : <http://www.zebra.com/eula>

## 使用の条件

### 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

### 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

### 免責条項

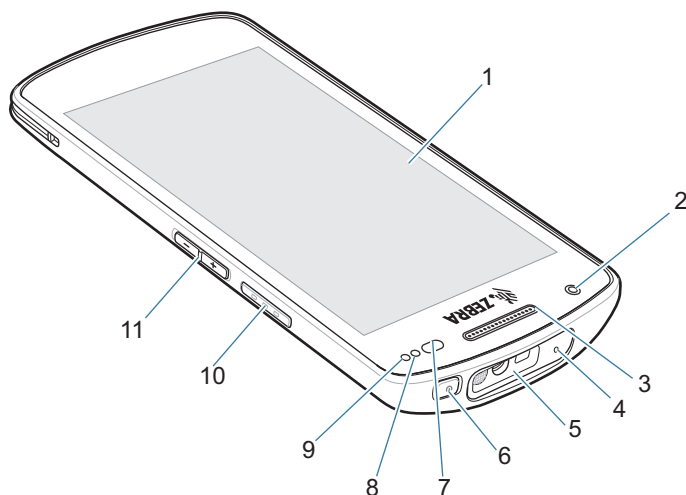
Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任を負わないものとします。

### 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

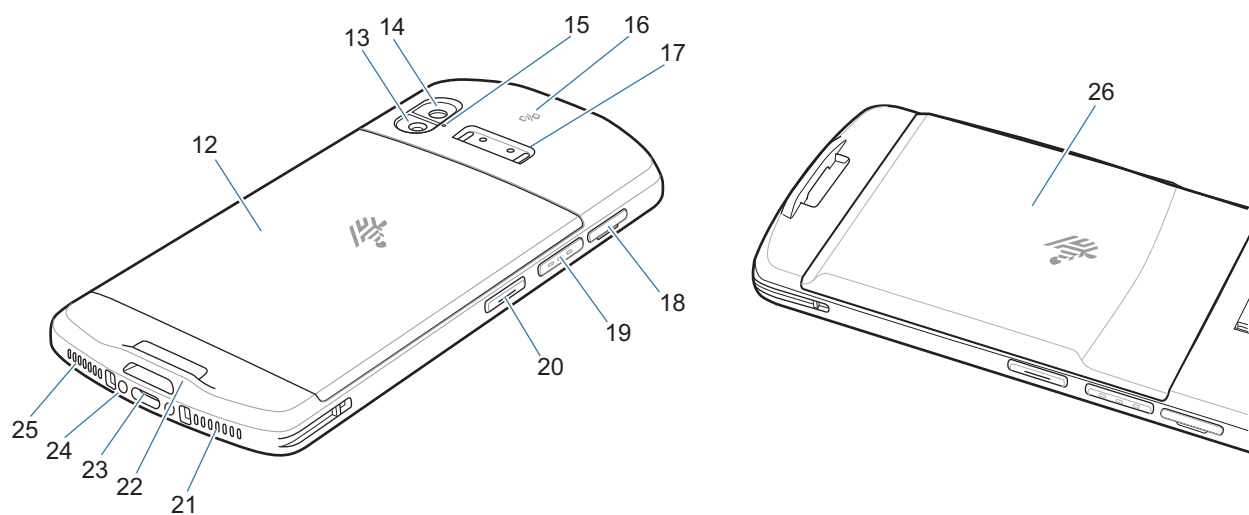
## デバイスの機能

図 1 正面図



項目	名前	説明
1	タッチ スクリーン	本デバイスの操作に必要なすべての情報が表示されます。
2	前面カメラ	写真やビデオを撮影します (一部のモデルで使用可能)。
3	レシーバ	ハンドセット モードでのオーディオ再生に使用します。
4	マイク	スピーカフォン モードでの通信に使用します。
5	出カウインドウ	イメージャを使用したデータ収集に使用します (一部のモデルで使用可能)。
6	電源ボタン	ディスプレイをオン / オフにします。長押しして本デバイスをリセットまたは電源をオフにします。
7	近接 / 光センサ	ハンドセット モードでディスプレイをオフにするために、近接状態を判別します。 ディスプレイ バックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。
8	データ収集 LED	データ収集ステータスを示します。
9	充電 / 通知 LED	充電中のバッテリー充電状態と、アプリケーションから生成された通知を示します。
10	スキャン ボタン	データ収集を開始します (プログラム可能)。
11	音量上 / 下ボタン	オーディオの音量を上げ下げします (プログラム可能)。

図 2 背面図



項目	名前	説明
12	標準バッテリー	標準バッテリー容量を提供します。
13	カメラ フラッシュ	カメラの照明として使用します。
14	背面カメラ	写真やビデオを撮影します。
15	マイク	雑音消去機能に使用します。
16	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信に使用します。
17	トリガ ハンドル マウント	トリガ ハンドルの電気接点 (0、2、または 8 ピン) と取り付けに使用します。
18	SD/SIM カード ドロワ	microSD カードと SIM カードへのアクセスに使用します。
19	スキャン ボタン	データ収集を開始します (プログラム可能)。
20	プログラム可能ボタン	通常、PTT 通信に使用します。規制上の制限がある場合 <sup>1</sup> 、ボタンは他のアプリケーションで使用できるように設定できます。
21	マイク	ハンドセット モードでの通話に使用します。
22	ハンドストラップ マウント	ハンドストラップおよびストラップ アクセサリ用の取り付けポイントになります。
23	USB-C コネクタ	USB ホスト、クライアント通信、ケーブルおよびアクセサリを介したデバイス充電に使用します。
24	充電コネクタ	クレードルを介したデバイス充電に使用します。
25	スピーカ	ビデオおよび音楽再生の場合に、音声を出力します。スピーカフォン モードで、音声を出力します。
26	拡張バッテリー	拡張バッテリー容量を提供します。

<sup>1</sup> パキスタン、カタール

## 本デバイスのセットアップ

本デバイスを初めて使用する際には、次のことを行います。

1. micro Secure Digital (SD) カードを取り付けます (オプション)。
2. nanoSIM カードを取り付けます (EC55 のみオプション)。
3. 本デバイスを充電します。
4. 本デバイスの電源をオンにします。

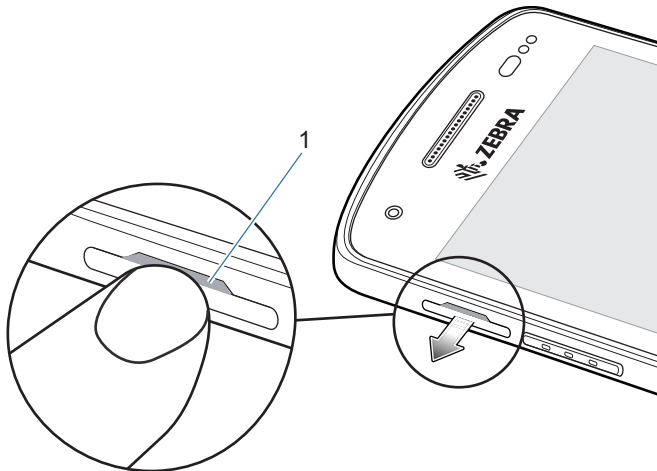
### microSD カードの取り付けまたは交換

microSD カード スロットを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。



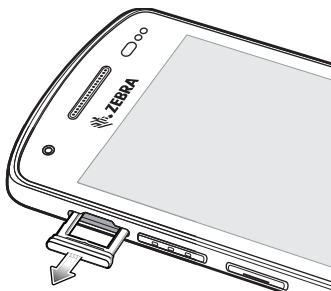
**注意** : microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する適切な注意事項に従ってください。ESD に関する適切な注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

1. 爪またはプラスチック製の工具で、SD/SIM カード ドロワを引き出します。

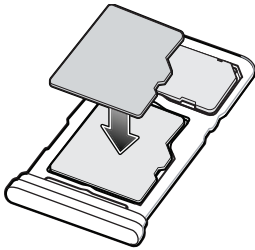


1	爪またはプラスチック製の工具による SD/SIM カード ドロワへのアクセス
---	--

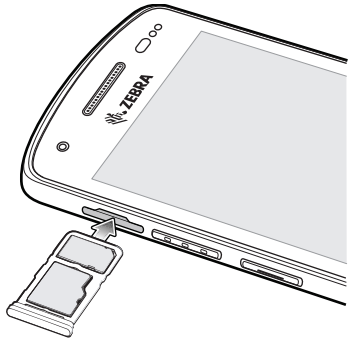
2. 本デバイスから、SD/SIM カード ドロワを取り外します。



3. SD/SIM カード ドロワに microSD カードを挿入するか、microSD カードを交換します。



4. SD/SIM カード ドロワを本デバイスに挿入します。



5. SD/SIM カード ドロワを本デバイスに押し込んで、しっかりと入っていることを確認します。

## SIM カードの取り付けまたは交換

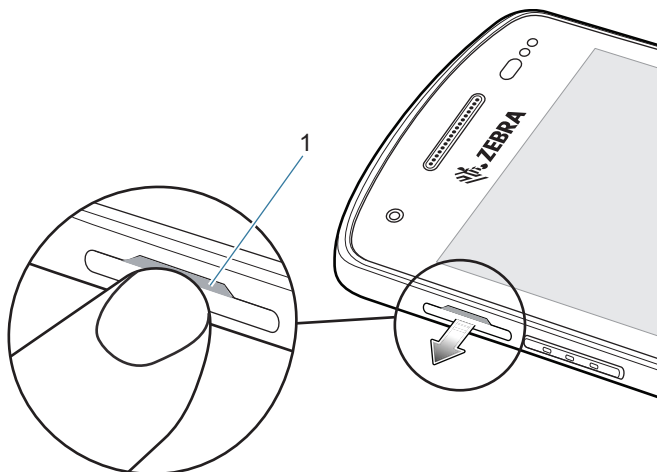


注：nanoSIM カードのみを使用してください (EC55 のみ)



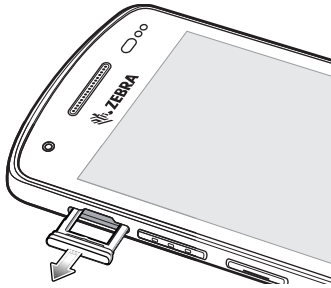
注意：SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する適切な注意事項に従ってください。ESD に関する適切な注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

1. 爪またはプラスチック製の工具で、SD/SIM カード ドロワを引き出します。

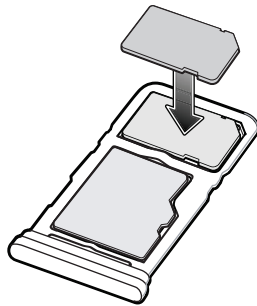


1	爪またはプラスチック製の工具による SD/SIM カード ドロワへのアクセス
---	--

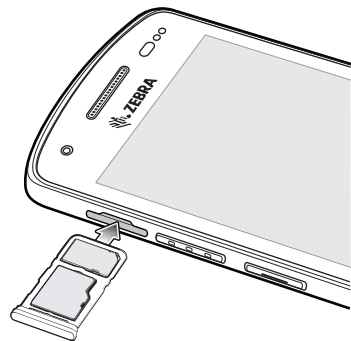
2. デバイスから、SD/SIM カード ドロワを取り外します。



3. SIM カードを SD/SIM カード ドロワに挿入します。



4. SD/SIM カード ドロワをデバイスに挿入します。



5. SD/SIM カード ドロワをデバイスに押し込んで、しっかりと入っていることを確認します。

## デバイス充電

本デバイスを初めて使用する場合は、まず充電 / 通知 LED が緑色に点灯するまで、本デバイスを充電します。本デバイスを充電するには、ケーブルまたはクレードルを使用して適切な電源に接続します。

本デバイスの充電 / 通知 LED は、デバイス充電の状態を示します。デバイス充電の状態については、[8 ページの表 1](#) を参照してください。Zebra クレードルまたは電源を使用して本デバイスを充電する場合、標準バッテリーは、完全に空になっている状態から 2 時間以内に 90% まで充電されます。拡張バッテリーは、完全に空になっている状態から 3 時間以内に 90% まで充電されます。



注：多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリのみを使用してください。本デバイスは室温で充電してください。

## 充電インジケータ

表 1 充電 / 通知 LED 充電インジケータ

状態	意味
消灯	デバイスは充電されていません。デバイスが正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。充電器 / クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくりと点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスは充電中です。
赤色でゆっくりと点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスは充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色で点灯	充電が完了しました。
赤色で点灯	充電を完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合にこの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎるか高すぎる。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。</li> </ul>
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎるか高すぎる。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。</li> </ul>

## 充電温度

バッテリーは、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で充電してください。本デバイスまたはクレードルでは常に、安全かつ適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、本デバイスまたはクレードルでは、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間でバッテリー充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、本デバイスおよびクレードルの LED で示されます。

## 本デバイスの充電

本デバイスは、充電クレードルまたは充電ケーブルを使用して充電してください。本デバイスで使用可能なアクセサリの詳細については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。

充電クレードルを使用して本デバイスを充電するには、次の手順に従います。

1. 本デバイスを充電スロットに挿入します。
2. 本バッテリーが正しく挿入されていることを確認します。



## アクセサリ



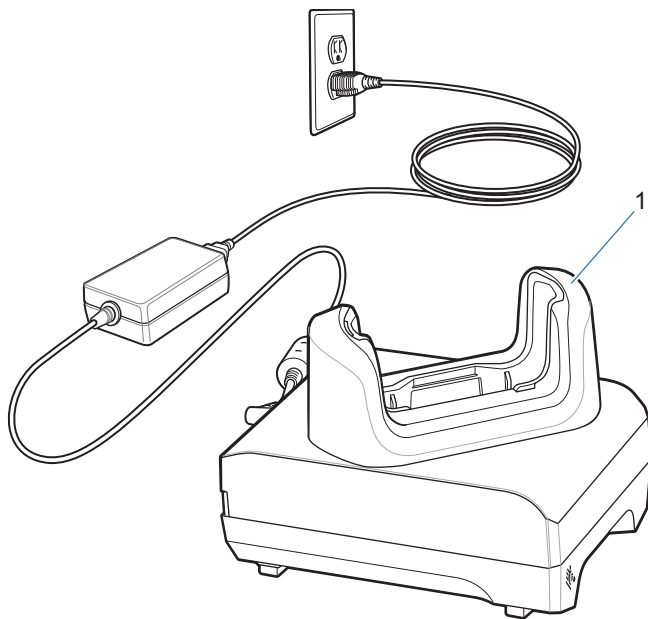
注意：本デバイスの『Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

本デバイスを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表 2 アクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
1 スロット充電専用クレードル	CRD-EC5X-1SCU-01	充電専用のデバイスが提供されています。USB-C ケーブル (CBL-TC5X-USBC2A-01) および電源 (PWR-WUA5V12W0xx) が必要です。
1 スロット USB/ イーサネット クレードル	CRD-EC5X-1SCUE-01	デバイス充電および通信に使用します。電源 (PWR-BGA12V50W0WW) および DC ライン コード (CBL-DC-388A1-01) が必要です。
4 スロット充電専用クレードル	CRD-EC5X-4SCO-01	最大 4 台のデバイスを充電します。電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、DC ライン コード (CBL-DC-381A1-01)、および国別の AC ライン コードが必要です。
4 スロット充電専用ロッククレードル	CRD-EC5X-4SCOL-01	最大 4 台のデバイスを充電します。電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、DC ライン コード (CBL-DC-381A1-01)、および国別の AC ライン コードが必要です。
1 スロット ワークステーション クレードル	CRD-EC5X-1SWS-01	デバイス充電、イーサネット通信に使用し、0.5 A USB ポート x 3、1.5 A USB ポート x 1、および HDMI ポート x 1 を提供します。電源 (PWR-BGA12V50W0WW) および DC ライン コード (CBL-DC-388A1-01) が必要です。
5 スロット イーサネット クレードル	CRD-EC5X-SE5ET-01	最大 5 台のデバイス充電、イーサネット通信に使用し、イーサネット ポート x 2 を提供します。電源 (PWR-BGA12V108W0WW) および DC ライン コード (CBL-DC-381A1-01) が必要です。
USB-C 通信充電ケーブル	CBL-TC5X-USBC2A-01	USB-A から USB-C への通信とデバイスへの電力供給を行います。

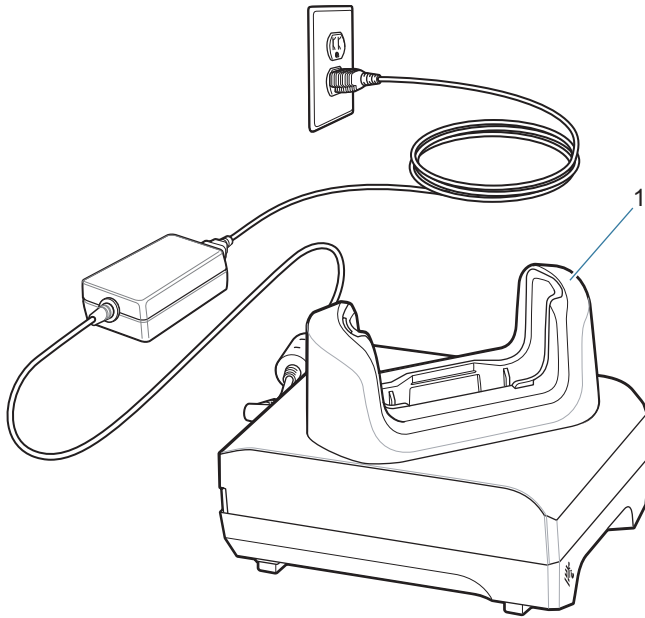
## 1 スロット充電専用クレードル



1	充電スロット
---	--------

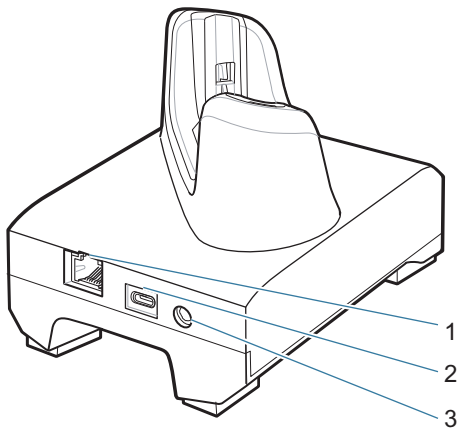
## 1 スロット USB/ イーサネット クレードル

図 3 正面図



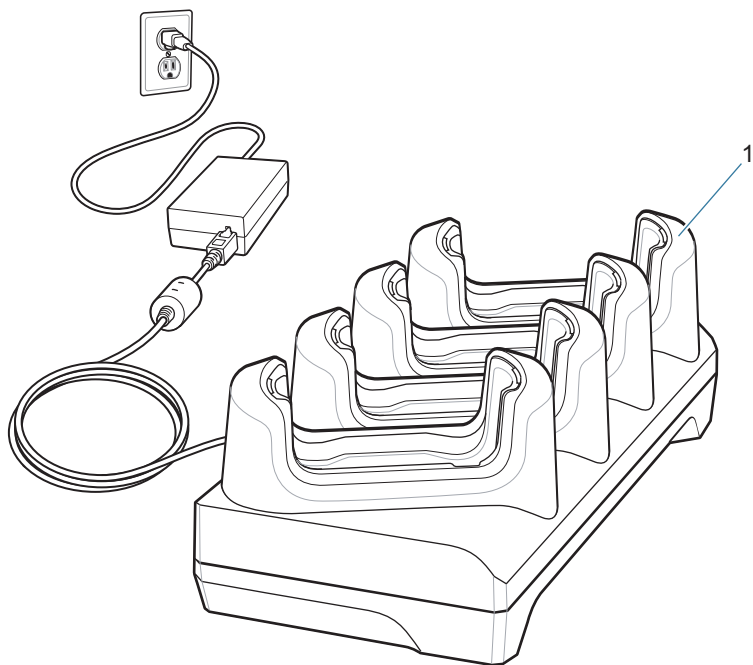
1	充電スロット
---	--------

図 4 背面図



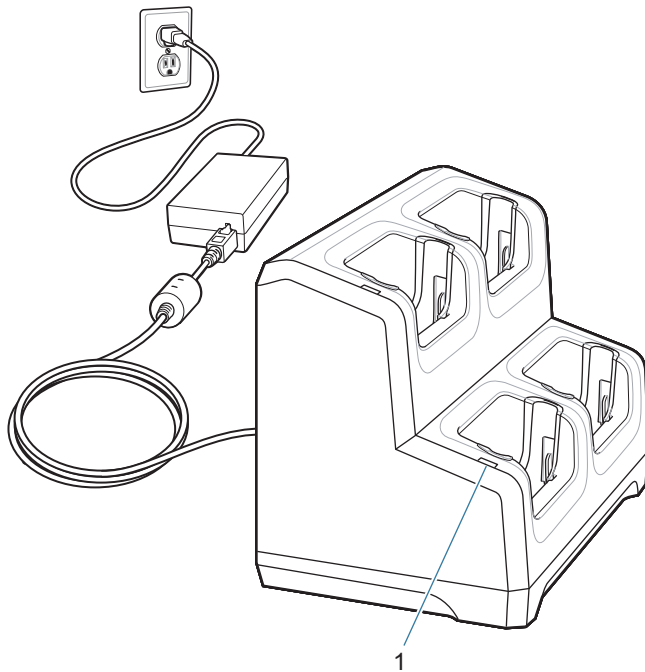
1	RJ-45 ポート
2	USB-C ポート
3	DC 電源ポート

## 4 スロット充電専用クレードル



1	充電スロット
---	--------

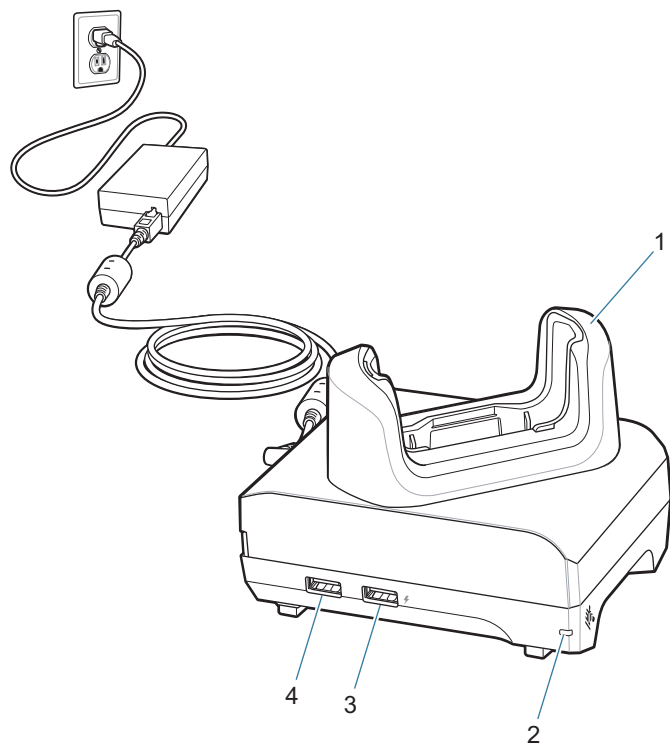
## 4 スロット充電専用ロック クレードル



項目	名前	説明
1	電源 LED	電源が各クレードル スロットに接続されていることを示します。

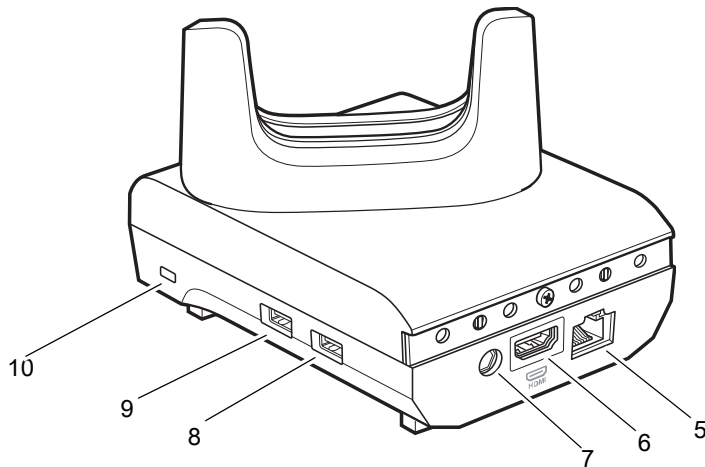
## 1 スロット ワークステーション クレードル

図 5 正面左側図



項目	名前	説明
1	充電スロット	充電中に本デバイスを固定します。
2	電源 LED	電源がクレードルに接続されていることを示します。
3	1.5 A USB ポート	マウスまたはキーボード用、あるいは個人用モバイルデバイス用 USB Type-A ポート。
4	0.5 A USB ポート	マウスまたはキーボード用 USB Type-A ポート。

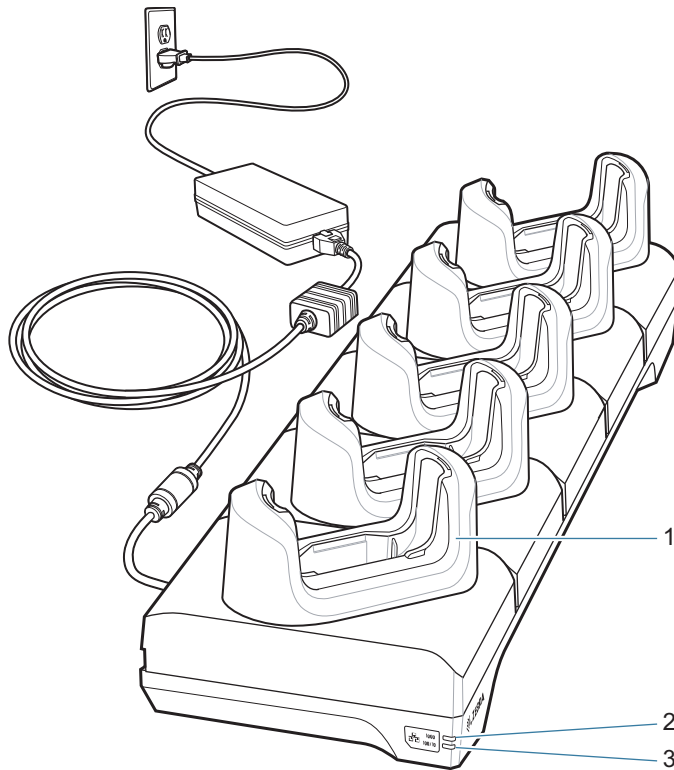
図 6 背面右側図



項目	名前	説明
5	イーサネット ポート	イーサネット ネットワークに接続します。
6	HDMI ポート	モニタに接続します。
7	電源ポート	クレードルに電源を供給します。
8	USB Type A ポート	マウスまたはキーボード用の接続。
9	USB Type A ポート	マウスまたはキーボード用の接続。
10	Kensington スロット	Kensington ロック システムでクレードルを固定するための接続ポイント。

## 5 スロット イーサネット クレードル

図7 5スロット イーサネット クレードル

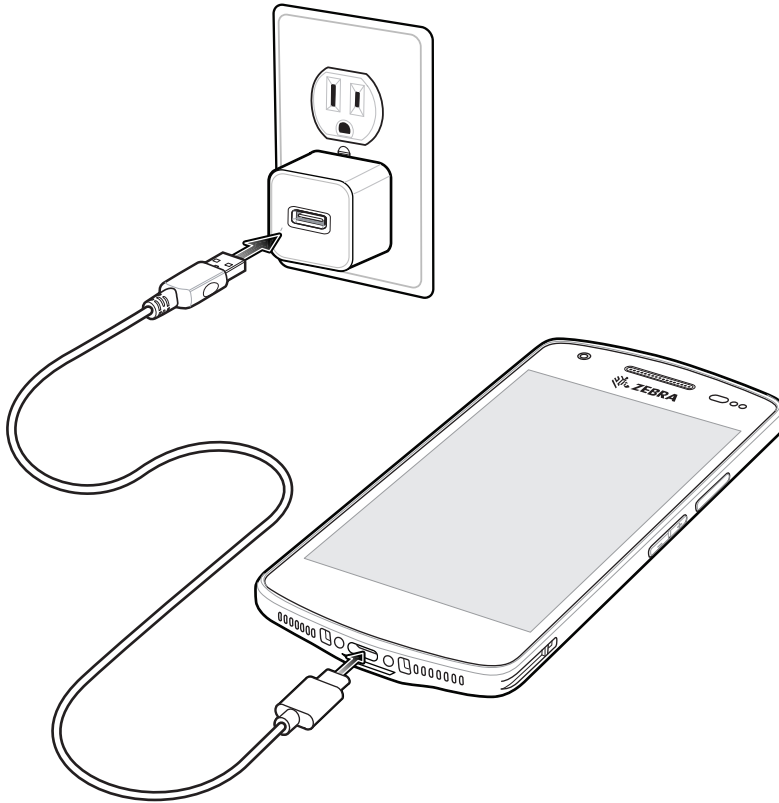


項目	名前	説明
1	充電スロット	充電中に本デバイスを固定します。
2	1000 LED	1Gbps の転送速度を示します。
3	100/10 LED	100 または 10Mbps の転送速度を示します。



## USB-C 通信充電ケーブル

USB-C ケーブルをデバイスの下部に差し込みます。デバイスを接続すると、充電、ホストコンピュータへのデータ転送、USB 周辺機器の接続が可能になります。



## 内部イメージャでのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリが必要です。本デバイスには、ユーザーがイメージャでバーコード データを読み取ったりバーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリが含まれています。

内部イメージャでスキャンするには、次の手順に従います。

1. アプリが本デバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。

2. 本デバイスの上部にある出カウィンドウをバーコードに向けます。



3. スキャン ボタンを長押しします。  
白色の照明とともに、照準を合わせるための緑色の照準ドットが照射されます。



注: 本デバイスがピックリスト モードの場合、十字または照準ドットがバーコードに当たるまでイメージはバーコードを読み取りません。

4. 白色の照明が照射されている領域にバーコードが納まっていることを確認します。緑色の照準ドットにより、明るい照明条件でもよく見えます。

図 8 照準パターン

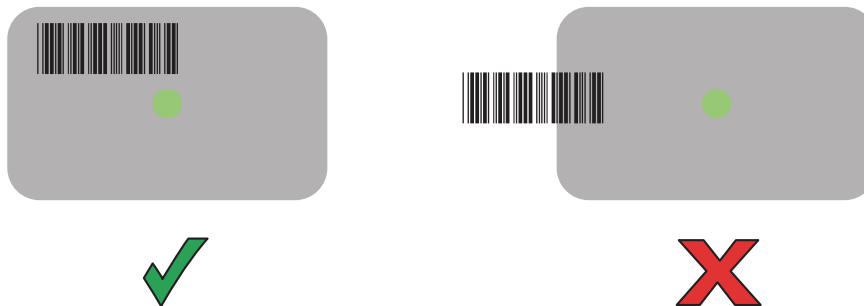
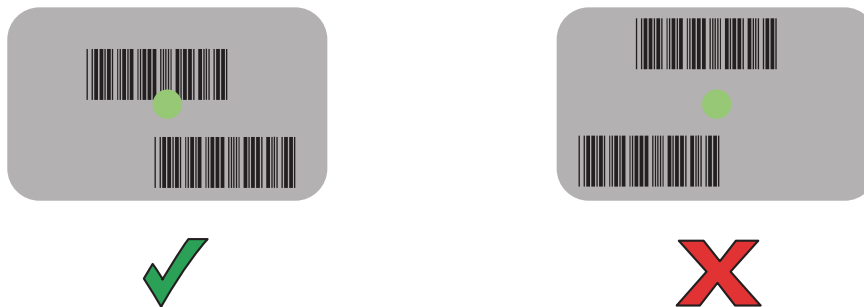


図 9 ピックリスト モード: 複数のバーコードがある場合



5. データ収集 LED が緑色で点灯し、デフォルト設定の場合はビープ音が鳴って、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャン ボタンを離します。



注：イメージの読み取りは通常、瞬時に行われます。精度の悪いまたは読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デジタル写真（画像）を撮影する手順が繰り返されます。

7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

## 人間工学に関する考慮事項



注意：手首を極端に曲げないでください。

